

沿革

昭和50年 4月 1日	村立第1保育所開設	通所バス運行
所在地	谷和原村大字南7番地	
	定員 90名(3、4歳児のみ)	
昭和63年 4月 1日	第1保育所移築	
所在地	谷和原村仁左衛門新田641番地	
	定員 60名(2～5歳児)	
平成 7年 4月 1日	保育時間延長(7:45～18:00)	
平成13年 4月 1日	1歳児受入れ開始	
平成14年11月29日	乳幼児室増設	
平成17年 4月 1日	定員 80名	
平成18年 3月27日	つくばみらい市立谷和原第1保育所となる	
	保育時間延長(7:30～18:30)	
平成20年 4月 1日	保育時間延長(7:30～19:00)通所バス廃止	

施設

木造平屋建	敷地面積	3, 993. 00㎡
	建物面積	601. 47㎡

保育時間

月曜日～金曜日	午前7時30分～午後7時00分
土曜日	午前7時30分～午後7時00分 (伊奈第2保育所にて保育)

位置と環境

谷和原第1保育所は市の北西部に位置し、西に小貝川、東と北につくば市が隣接している。小貝川の代表的な福岡堰から水路が開け保育所周辺は『谷原三万石』と称した米所で美田に囲まれた自然豊かな環境の中にある。以前は農業を基盤としていたが、現在は家庭外労働が多く、平成17年の「エクスプレス」開通に伴い、人口は増加しつつある。

保育理念

児童福祉の理念に基づき、地域の児童福祉の向上に努め将来を担う大切な児童が、心身ともに健康に育つため、のびのびと遊べる環境を整え、一人ひとりを尊重する保育に努めます。また、働く保護者がより利用しやすい受け入れ態勢を整えとともに子育て支援活動や地域社会の交流を図り、地域に根ざしたより良い保育所を目指します。

保育方針

- ◎豊かな人間性を持った子どもを育成する。
 - 一人ひとりの子どもが、様々なことを体験し、達成感や満足感を味わい、豊かな感性が育つように努めるとともに、いろいろな遊びを十分楽しむことができるようにする。

保育目標

- ・心身ともに健康な子
- ・感性豊かで意欲のある子
- ・思いやり、やさしさのある子

クラス編成と保育目標

いちご組 (1歳児)	安心できる保育士との関係の下で、自分でしようとする気持ちが芽生える
(2歳児)	行動範囲が広がり、探索活動が盛んになる
りんご組 (3歳児)	保育士や友だちと遊ぶ中で、自分のしたい事、言いたい事を言葉や行動で表現する
ぶどう組 (4歳児)	保育士や友だちと一緒に遊びながら、つながりを広げ集団としての行動ができるようになる
めろん組 (5歳児)	生活や遊びの中で一つの目標に向かい、力を合わせて活動し達成感や充実感をみんなで味わう



職員構成

(R8. 4. 1現在)					
所 長	事務	主任 保育士	保育士	ALT	保育補助
1名	1名	1名	11名	1名	3名

クラス別人数

クラス名	いちご		りんご	ぶどう	めろん	合 計
年 齢	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
人 数	4名	6名	7名	12名	15名	44名



主な行事予定

4月	入所式
5月	内科健診
6月	運動会 歯科検診 保育参観
7月	七夕 水遊び 保育参観
8月	水遊び
9月	秋まつり 保育参観
10月	
11月	内科健診 歯科検診 生活発表会
12月	お楽しみ会 保育参観
1月	正月あそび
2月	節分
3月	ひなまつり お別れ遠足 修了式
毎 月	誕生会 避難訓練 身体測定 所庭開放
その他	園外保育



保育所生活の1日の流れ

7:30	早朝保育(りんご組) 登所 あいさつ 健康状態の観察 持ち物整理 自由活動
8:40	各クラスへ移動 クラス別保育
9:45	おやつ(いちご組)
11:00	給食(いちご組)
11:15	給食(りんご組)
11:30	給食(ぶどう・めろん組)
12:30	排泄 午睡準備 手洗い
12:40	午睡
14:30	起床 布団片付け 排泄 手洗い
15:00	おやつ(全児)
16:00	健康状態の視診 降所開始
16:45	混合保育(りんご組)
19:00	保育終了

